

人間関係とコミュニケーション

問題 3 介護職と利用者のコミュニケーションを促す場面づくりに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者との関係性をつくる座り方として、直角法より対面法の方が有効である。
- 2 対面法で座る場合、視線を向けることのできる花瓶などを机の上に置くとよい。
- 3 利用者に近づけば近づくほど、親密な雰囲気になって利用者は話しやすくなる。
- 4 利用者が座っているときも、介護職は立ったままで話しかけてよい。
- 5 介護職が腕や足を組んだ姿勢をとると、利用者はより話しやすくなる。

問題 4 Bさんの父親は認知症(dementia)があり、同じ話を繰り返す。Bさんが、「同じ話を毎日聞いて疲れる。疲れるのは父親のせいだ。つらいです」と介護職に話した。

このときの介護職の、感情の反射(reflection of feeling)を用いた返答として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「どんなふうにつらいですか」
- 2 「つらい気持ちなのですね」
- 3 「うまくいっていないのですね」
- 4 「つらい気持ちは怒りみたいなものですね」
- 5 「あなたが話していることは、お父さんに対するつらさですね」